

訂正などなど

三木 邦弘

平成7年 2月 7日

これは、「ワークステーションを使ってみよう」(平成7年1月7日版)と「ワークステーションを使ってみよう - 追加 - 」(平成7年2月1日版)の訂正のまとめです。これらのテキストは私の平成6年度の基礎演習のテキストとして作られたもので、時間などの都合で様々な誤りがそのまま残っております。その誤りのまとめです¹。

1 全体に関する注意

ワークステーションのソフトの設定は、非常に融通がききます。そのために全く同じソフトでもその設定が異なると全く違うソフトに見えることすらあります。このテキストどおり動く設定になっているのは、学園センターにあるcc01の平成6年の12月以降に登録された利用者だけだと思います。004室にあるsss-1の利用者もほぼ大丈夫ですが、現在のところニュースに投稿できないという問題点があります。bachにはソフトはインストールしてありますが、elmはかなり異なる動きをしましょう。mnewsはまあまあでしょうか。

テキスト文中に とあるのは改行キーの事です。

2 「ワークステーションを使ってみよう」の訂正

2.1 ワークステーションとは

ここはお話しだけなので特に問題はありません。p.4 l.7 (4ページの上から7行目のこと。表題も行数に入れます。)には「学生をいじめるために」と言うところがありますが、今年の演習を受けた学生によると、その前にあったC言語のほうがずっとひどかったそうです。

2.2 利用開始と終了

p.5 l.16 **実行**を押した後でもう1回**実行**を押す必要があります。p.6 l.27 LsstではなくLastです。004室のノートパソコンの設定はこのテキストからも判るように、レジューム処理が行われるようになっています。ですから005のように**STOP**を何回も押してMENUを終わらせたりする必要はありません。そのまま蓋を閉じれば良いようになっています。ただ2台ほど蓋のスイッチが故障しているらしく、蓋を閉めてしばらく待っても電気が切れないものがあります。これに対しては電源スイッチを押してやる必要があります。

黒板に調子の悪いパソコンの番号が書いてあります。番号は本体の横にある備品番号です。応答の悪いものは本当に悪いですからご注意ください²。また学園センターのFMRも時々login: のメッセージが出ない

¹訂正版は4月以降にできるでしょう。情報系以外の先生への配布はそれ以降を考えています。

²例えばユーザー名を入力してからパスワードを聞いてくるまでに数分待つとか。原因不明。判ればすぐ直すのですが。

ものがあります。あきらめて隣のFMRを御利用下さい³。

パスワードの設定は必ずお願いします。不適当なパスワードに対しては毎週1回警告のメッセージが電子メールで届くようになっています。

演習問題にある、lettersは今年度の私の演習では唯一好評でした。しかし現在のcc01での記録のレベルは高く、まあ並の努力では名前が載りません⁴。

2.3 テキストの編集

漢字入力の説明はもう少し丁寧にする必要があると思いますが、面倒ですね。ここで説明しているngは半角カタカナや半角かな記号を入れると死にます。ご注意下さい。Unixのコマンドも非常に簡単に触れていますが、ディレクトリーの切れ目を / で区切る (MS-DOSだと¥) 話すらありませんね。

p.11 l.13 「、スペースパー」を「スペースパー、」とした方が分かりやすいでしょう。

004室ではlprではプリンターから印字されないと思います。

2.4 電子メール

電子メール自体の説明がなくて、比較の話になっています。これは基礎講義の方で並行して電子メールやニュースの話をしていたので、あまりその必要がなかったのであります。来年はこの講義がなくなったので、テキストにももう少し説明を加える必要がありそうです。

メールアドレスは登録したマシンによって異なりますのでご注意下さい。bachならば、xxxx@ss.sugiyama-u.ac.jpですし、sss-1ならば、xxxx@sss-1.ss.sugiyama-u.ac.jpになります。

ここではelmと言うプログラムの説明をしています。設定は説明が楽なようにしています。実際にbach等で使うともっと色々問い合わせてきたりします。演習のときには、設定の最終調整が間に合わなかったので、13ページから15ページまでは全面改訂版を次の週に配ったりしました。今回はその改訂済みのものですが、p.15 l.25のchgmsigの後が切れています。ここは、

chgmsig と入力するとngが起動されるので、適当な署名の内容を入力して、保存、終了する。

となるところです。bachではchgmsig⁵は使えません。なお、その前の文章に自動的に追加とありますが、実態はメールの本文の入力の際には、既に署名のデータが入っているのでその前に本文を入力する形になります。

2.5 電子ニュース

p.16 l.2の「全章」は「前章」の誤りです。p.16 l.8の「Ssystem」も「System」の誤りです。p.17 l.13「このオリジナル」は「以下の表のオリジナル」の方が良いと思います。ここでの説明はcc01での話なので、bachやsss-1ではcompやsciを見ることができます。

p.20 l.3「矢印キーで選択する」は「矢印キーでカーソルを動かして選択する」です。同じくp.20 l.14(----で挟まれた画面例は飛ばして数えて)の「記事をフォロー」ですがフォローの説明は後で出てくるので、ここでは「記事への応答を」にした方が良いでしょう。同じくp.20 l.25の「cを押すと全記事に」は「cを押すとこのニュースグループの全記事に」が正しいです。

bachではchgmsig⁶も使えませんので悪しからず。

³時々直していますが、直すためには端末からの利用者が他に居るとまずいので夜、リモートで直しています。

⁴逆にbachならば点があれば載ります。(平成7年2月7日現在)

⁵chgmsigと同様のことをするには、.elm/signatureと言うファイルを編集して、さらにその内容の漢字コードをEUCからJISに変更すると言う作業が必要です。

⁶chgmsigと同様のことを行うには、.signatureと言うファイルの内容を編集して、その漢字コードをEUCからJISに変更する必要があります。

2.6 文書の清書

この章は他の人の作ったものを頂いてきたのと、夏休み中にほぼ完成させていたので、まあまあの出来です。

p.24 l.24 「nullと入力」を「null と入力」、p.24 l.25 「CNTL-D」を「C-d」、p.24 l.26 「xを入力」を「x を入力」、同じ行の「eを入力」を「e を入力」と直します。他の人の文章は書き方が違うのでこうなっていました。また ぐらい補ってくれば良いのに、素直な学生なので困ります。

プリンターの出力のコマンドのパラメタが少し違うと言う話がありますが、ぼちぼちこのテキストに合わせるようにする予定です。なお cc01 から 004 室のプリンターには出せますが、逆に sss-1 からは学園センターのプリンターには出せません。sss-1 のプリンターの制御プログラムがまだ完璧でない為に、プリンターの電気が入っていない時に送ると消えます。また 6 ページ以上の物を出そうとすると所々空白の混じったものになります。

p.27 l.19 以下の説明を追加します。

a4j 用紙サイズを国内の A4 に合わせて、段落の幅や段落先頭の字下げの幅を調整します。

演習の方では説明を追加しなかったのですが、まあ普通の作文には必ずこれを使います。それから、p.27 l.22 の「book, jbook」を「book、jbook」に直すのが私の好み？です。p.31 l.6(用例を除いた行数なので実は真ん中の辺り。)「のと、先頭」は「のと、先頭」の誤です。

p34. l.6 「\documentstyle{jarticle}」は「\documentstyle[a4j]{jarticle}」の方がまともです。入れた場合と入れない場合をやってみて違いを見ると言う課題でも良いかもしれません。ただ紙が倍必要となりますが。

その次の演習問題も条件として「\bf、\large、\quote もそれぞれ1回以上使用せよ。」を追加してやりました。全体として1ページ程度と書いてあるのに3ページにわたる大作を作った学生もいました。

テキストにはありませんが、時間があつたので最後に表等を使用した演習のクラス分けのちらしも課題として作ってもらいました。

できた物を出力を提出するだけでなく、メールで原稿ファイルも送ってもらいましたが、後の処理が大変でした。送ったつもりで空のメールしかくれない学生や原稿ファイルを複数入れたメールを何回も送ってくる学生やら。。。

3 ワークステーションを使ってみよう - 追加 -

こちらはテキストを元に説明をした上で、人数の関係で2回に分けて実演を見せました。どうしても外部へのアクセスとなりますので、一斉に行くとそれだけでなく遅い応答がもっと悲惨なものになるでしょう。来年度はこのテキストの先頭にもあるように6章の前に挿入する予定です。

p.2 l.19 「パスワードの代わり」の前に「ユーザー名としてanonymousを入力し」を挿入します。p.3 l.6 「京都大学(ftp.kyoto-u.ac.jp)」は「京都大学(ftp.kuis.kyoto-u.ac.jp)」の誤りです。ftpサーバーはどこも混んでいるようです。

lynx は遊べます。演習では最後の最後に紹介したので、学生で遊んでいるのは居ないようですが、官邸にもつながると驚いていました。

4 今後の予定

私の演習では今年度から始めた「ワークステーション」と「C言語」が2つの柱でして、来年度はC言語のほうのテキストをさらに改訂して短くして、もうちょっとワークステーションの方に時間をさく予定です

す。ただどちらを先にやるかが問題で、今年の学生にアンケートをとったところ、できの良い学生はしん
どいCが先のほうが良いと言ってます。

来年度の卒業研究でtelnetでアクセスできる本学の図書検索システムとlynxでアクセスできる本学の紹
介のWWWサーバーを作らせる予定です。学内のサーバーならば同時にアクセスしてもさほど問題になら
ないので、演習でどんどん使えらと思います。

テキストの方では、ファイル転送(MS-DOS ↔ Unix)の説明があっても良いかなと思っております。
何かご意見などありましたら、お知らせください。